埼玉新聞　経済欄

中小企業診断士による
経営Q&A

Q　「IT（情報技術）を活用して生産性を向上させる」といわれますが、社内にはITに強い人材もおりません。まず何をすれば良いでしょうか。

A　IT活用による生産性向上の手法には規模の大小含め、さまざまなものがあります。事業内容、関わる従業員のITスキルなどにより、何から始めるのが良いかは異なりますが、どんな業種であってもIT活用による生産性向上の考え方は同じです。まずそこから整理して自社に有効な手段を検討しましょう。

ITツールで生産性向上

生産性とは「付加価値（粗利益）÷投入資源（コスト）」で表されますので、IT活用も二つの側面から考えることができます。一つ目は付加価値向上のため、販売促進など売上増に直結するITの活用です。ホームページやブログ、SNS（会員制交流サイト）などを使った販促なら大きな費用をかけることなく、比較的簡単に取り組むことができます。

二つ目はコスト削減、特に業務効率を高めることです。こちらはITが最も得意とするところで活用の幅も広いのですが、まず日々の業務を俯瞰（ふかん）するところから始めましょう。「仕事に無駄があるな」「同じような作業を毎日繰り返しているな」と思われるところがあれば、そこに身近なITツールを活用できないかを考えます。情報を定型化・データ化し、かつ一元化することから検討すると、比較的簡単に解決策を見つけられます。

例えば、毎日手書きで起票している伝票があれば、パソコンやタブレットを使ってデータ化し、それを共有フォルダなど、1カ所に集めることで、起票から提出、確認までの作業を効率化できます。タブレットにはスタイラスペンで手書きできるものもあり、従業員にITへの苦手意識があっても、比較的容易に取り組んでいただけます。

そしてぜひともご検討いただきたいのは、従業員全体のITスキルを底上げするための研修です。ITは仕事道具の一つです。その道具を会社というチーム全体でうまく活用するには、関わる人がお互いのスキルを理解していることが必要です。特定の人だけがITに強い会社では、その人に頼りきりになり、IT活用が他の人には理解のできないブラックボックスになってしまいます。ITが得意な人も苦手な人も、皆で机を並べて同じカリキュラムを学ぶことで、お互いの本当のスキルを理解する機会としても活用でき、その後のIT活用の幅を広げることが可能となります。

中小企業診断士は、それぞれの会社の状況に合わせたIT活用手法や研修をご提案することができます。ぜひお気軽にご相談ください。

（中小企業診断士・古沢登志美）

◇

連絡先・一般社団法人埼玉県中小企業診断協会（☎048・762・3350）